

効果発揮事例(防災+α)

高規格道路の整備により、災害に強い国土幹線道路ネットワークを構築する



国土交通省 九州地方整備局
宮崎河川国道事務所



宮崎県宮崎市～日南市



東九州自動車道 清武JCT～北郷

東九州自動車道の整備



大雨等の規制状況

規制回数(累計)	72回
規制時間(累計)	計1,996時間(日換算約83日)
規制理由	斜面崩壊、落石等

※国道220号におけるH21～R5の15年間の実績



事業費

1,622億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)15億円)

事業の背景(地域の課題)

東九州自動車道に並行する国道220号には異常気象時の事前通行規制区間が存在し、過去に災害や事故による長時間の通行止めが発生していました。令和3年9月には、小内海地区にて大規模な法面崩壊が発生し、約1か月の全面通行止めが発生しました。

事業の内容

九州東部の広域的な連携や、物流の効率化及び地域の発展、災害に強い道路ネットワークの構築等のため、高速道路ネットワークの未開通区間である東九州自動車道 清武JCT～日南北郷IC間(延長19.0km)の整備を実施しました。

効果

令和6年8月の日向灘を震源とする地震により、日南市宮浦地区の国道220号において落石が発生し、17日間にわたり全面通行止めを行いました。令和5年3月25日に清武南IC～日南北郷IC間が開通したことにより東九州自動車道が迂回路となり、国道220号の代替機能を果たしました。

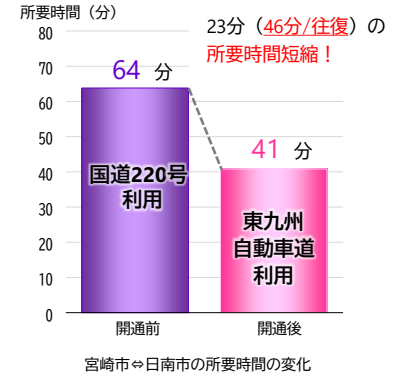
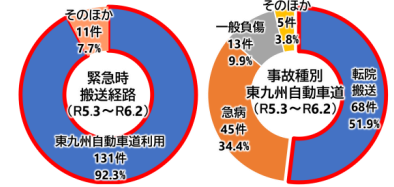


東九州道 清武南IC～日南北郷IC間
開通時の状況(R5.3)

緊急搬送時の患者負担軽減に寄与

日南市内の第二次救急医療機関での受入れが困難な場合や、第三次救急医療機関での治療を要する重篤患者は、宮崎市内の医療機関への搬送が必要です。東九州自動車道の整備により、日南方面から宮崎方面への緊急搬送の約9割が東九州自動車道を利用してあり、そのうち約5割が転院搬送により利用されています。東九州自動車道の整備により所要時間が短縮されるとともに、急カーブ箇所が解消され、走行性が向上するなど、緊急搬送時の患者の負担軽減に寄与しています。

緊急搬送時の(日南市⇒宮崎市)の利用経路と搬送内訳
緊急搬送時の経路 事故種別(東九州自動車道利用)



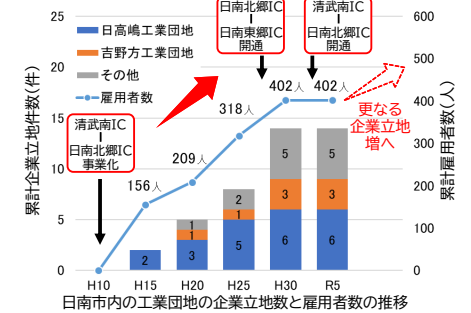
日南市⇄宮崎市内の急カーブ箇所数

資料:道路台帳附図
(日南市消防本部⇒宮崎市内第三次救急医療機関)
設計速度に応じた平面曲線半径に満たない箇所を急カーブとして集計

資料:ETC2.0プローブデータ(宮崎県役所⇄日南市役所)
【開通前】R5.2(平日)24h
【開通後】R6.2(平日)24h

日南市内の工業団地の活性化に貢献

東九州自動車道の整備に合わせて、工業団地における企業数・雇用者数が増加しました。



新たな工業団地の整備による地域産業の活性化

東九州自動車道の整備に合わせて日南東郷IC付近に日南市内最大規模となる約27haの新しい「日南東郷インター工業団地」の整備が計画されています。

アクセス
<ul style="list-style-type: none"> ・日南東郷ICまで200m ・油津港まで7分(約6km) ・清武南ICまで20分(約27km)
事業スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・R6:企業誘致開始 ・R9:造成工事開始 ・R11:造成工事完了



資料:日南市長定例記者会見資料

(1) 人命・財産の被害最小化

(2) 交通・ライフラインの維持

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

2 インフラの老朽化対策

(1) 施策のデジタル化

(2) 災害関連情報の高度化

3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進